

6-3

Department of Management Systems

経営情報学科

情報デザイン学部 経営情報学科の卒業の認定に関する方針

大学で定めた卒業認定の要件を受けて、経営情報学科が示す以下の知識及び能力を有する者に学士(情報)の学位を授与する。
(各記号の説明はWEBに記載・各記号は科目のシラバス内「学科教育目標」として記載しています)

基礎教育部：A～H

A 自己啓発・自己管理能力 B 多様な価値観の理解と倫理的判断能力 C 外国語コミュニケーション能力 D 現象のモデル化と分析能力、論理的思考能力
E 図表を用いたコミュニケーション能力 F 基礎的な実験能力 G 問題発見・問題解決能力 H コンピュータリテラシー

専門教育課程：I～N

I キャリアデザイン能力 J マネジメント能力 K マーケティング能力 L 金融能力 M 情報デザイン能力 N 社会応用実践能力

教育目標

高度に情報化した現代の国際競争社会では、マネジメント・スキルと情報技術の双方の基本的な素養を備え、実社会に活用できる人材があらゆる分野で求められている。本学科では、①マネジメント能力、②マーケティング能力、③金融能力、④情報通信能力を修得し、4分野融合に基づく社会に有益なビジネスを新しく立ち上げ、そのビジネスと組織を効率的に管理するための知識や方法、さらに、それらを実現するための基盤であるマネジメント・スキルと情報技術によって、ビジネスを通じた社会課題の解決を実現する人材を育成する。

課程区分	科目区分	科目群	1年次		2年次		3年次		4年次		卒業に必要な最低単位数					
			1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期	必修	選択	文理横断 専門探究			
修学基礎教育課程	修学基礎	修学基礎	▶ 修学基礎 A ②	▶ 修学基礎 B ②									4	—	—	
		人間形成基礎	▶ 実践ウェルビーイング ①		※1	▶ 技術者と持続可能社会 ② ▶ 日本学(日本と日本人) A ① ▶ 日本学(日本と日本人) B ①	※1	▶ 科学技術者倫理 ②	※1					7	—	—
		生涯スポーツ	▶ 健康・体力づくり ①	▶ 生涯スポーツ演習 ①										2	—	—
		人間と自然	▶ 人間と自然											合格が 卒業要件	—	—
英語教育課程	英語科目	英語	□ イングリッシュベシックス ② □ イングリッシュピックス1 ② □ イングリッシュピックス3 ② □ イングリッシュピックス5 ②	□ イングリッシュピックス2 ② □ イングリッシュピックス4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング1 ② □ ライティングベシックス ② □ STEMイングリッシュ ②※1 □ TOEIC初級 ② □ TOEIC中級 ② □ インテンシブイングリッシュ ②	□ イングリッシュピックス3 ② □ イングリッシュピックス5 ② □ アカデミックリーディング2 ② □ アカデミックプレゼンテーション ② □ イングリッシュセミナー ②	□ イングリッシュピックス4 ② □ ビジネスコミュニケーション ② □ アカデミックリーディング1 ② □ ライティングベシックス ② □ STEMイングリッシュ ②※1							—	8	※3	
		数理基礎	▶ 情報のための数学 I ② ▶ 情報のための数学 II ②	▶ 線形代数 ② ▶ A I 基礎 ① ▶ データサイエンス基礎 I ① □ 情報数理 A ② □ データサイエンス物理 ②	▶ データサイエンス基礎 II ①	□ アドバンスト数理 A ② □ アドバンスト数理 B ②	□ 技術者のための統計 ②							9	2	※1
基礎プロジェクト科目	基礎プロジェクト		▶ プロジェクトデザイン入門(実験) ② ▶ ICT入門 ① ▶ データサイエンス入門 ①	▶ プロジェクトデザイン I ②	▶ プロジェクトデザイン II ②	▶ プロジェクトデザイン実践(実験) ②								10	—	—
		専門科目	▶ 情報デザインキャリアデザイン(経営情報) ② ▶ Webデザイン ② ▶ 経営学入門 ② ▶ 企業会計基礎 ② ▶ データアナリティクス入門 ②	▶ I Tシステム基礎 ② ▶ プログラミング基礎 ② ▶ 経営戦略と組織 ②	▶ マーケティング基礎 ② ▶ ビジネス統計学 I ② ▶ 経営分析とESG ② ▶ 戦略会計入門 ② ▶ イノベーション・デザイン ② □ ロジカルシンキング ② □ データベースマネジメント ② □ 数理マネジメント ②	□ マーケティング戦略 ② □ Webプログラミング ② □ システムモデリング ② □ 戦略会計応用 ② □ 会計情報とビジネス法規 ② □ ビジネス統計学 II ②	▶ 経営情報専門実験・演習 A ③ □ インダストリアルエンジニアリング ② □ SDGs基礎 ② □ 先進プログラミング ② □ アルゴリズムとデータ構造 ② □ サステナブルファイナンス ② □ 原価管理 ② □ データアナリティクス ② □ グローバルリーダーシップ実践 ②	▶ 経営情報専門実験・演習 B ③ □ マーケティング実践 ② □ SDGs実践 ② □ 先進プログラミング応用 ② □ システム思考 ② □ 企業価値評価とESG ② □ アカデミックリーディング ② □ データサイエンス実践 ②						60	※3	
専門プロジェクト科目	その他					▶ イノベーション基礎 ①	▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザイン III ⑧					10	—	—	
		リベラルアーツ系科目					□ 進路セミナー I ①	□ 進路セミナー II ①	※1					—	12	※2
全課程から提供			科目の記載はp.173-174参照											—	12	※2

▶ 必修科目 □ 選択科目

○付数字は単位数を表す。
※1：ゾーンの科目は学科によって開講学期が異なるので注意すること。
※2：「リベラルアーツ系科目」の12単位については、科目群「文理横断」と「専門探究」から合計12単位を修得すること。
※3：「専門探究」の単位数は、科目群「英語」「数理基礎」「専門」より卒業に必要な最低単位数を超えた単位数とする。

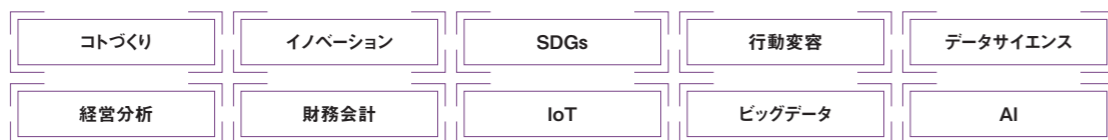
合計

124

カリキュラムガイド

詳細は次ページへ

キーワード



ディプロマ・ポリシー(DP)	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1期 前学期	2期 後学期	3期 前学期	4期 後学期	5期 前学期	6期 後学期	7期 前学期	8期 後学期
キャリアデザイン能力(I) 経営情報学科で何を学ぶか、経営情報とは何かの概念を得る。経営情報学科プログラムの学習・教育目標を把握し、自ら履修計画および学習計画を立案できる。また、ビジネス業界の動向や就職環境などを把握して、自らの適性と希望に応じた将来の進路を展望し、自らの進むべき方向を決定できる。	▶ 情報デザイン学キャリアデザイン(経営情報) ②				□ 進路セミナーⅠ ①	□ 進路セミナーⅡ ①		
マネジメント能力(J) データサイエンスの基礎的な手法を習得するとともに、事業のマネジメントに関する広範な知識と一般原則を理解できる。特に、SDGs(持続可能な開発目標)などグローバルな視点から、事業のありかたについての視点を持つことができる。	▶ データアナリティクス入門 ② ▶ 経営学入門 ②	▶ 経営戦略と組織 ②		▶ ビジネス統計学Ⅰ ② □ ロジカルシンキング② □ 数理マネジメント ② ▶ イノベーション・デザイン②	□ ビジネス統計学Ⅱ ②	▶ データアナリティクス② □ インダストリアルエンジニアリング② □ グローバルリーダーシップ実践 ② □ SDGs基礎 ②	□ データサイエンス実践 ② □ アカデミックリーディング ② □ SDGs実践 ② □ マーケティング実践 ②	
マーケティング能力(K) 顧客ニーズを起点とするマーケティングの用語と考え方を理解した上で、ビッグデータによる市場動向を把握する手法、およびそれを解析する手法を習得するとともに、実際の社会事例において、それらの手法を活用した分析と提案ができる。				▶ マーケティング基礎 ②	□ マーケティング戦略 ②			
金融能力(L) 経営状態を表現するための会計および資金の調達と運用・投資を行うためのファイナンスに関する知識を修得することにより、財務諸表を見てケース企業の経営状態を把握すること、さらには資本調達計画の立案など、お金に関する意思決定をすることができる。	▶ 企業会計基礎 ②			▶ 経営分析とESG ② ▶ 戦略会計入門 ②	□ 会計情報とビジネス法規 ② □ 戦略会計応用 ②	□ サステナブルファイナンス② □ 原価管理 ②	□ 企業価値評価とESG ②	
情報デザイン能力(M) 情報技術を活用するために、コンピュータ、データベース、インターネットとそのサービスに関する基礎知識を習得するとともに、複雑な事象やシステムのモデル化技法と解決技法を習得する。これらの知識・技法を用いて、課題解決のためにIT活用に関する提案や、ITシステムの設計とプログラミングを行うことができる。	▶ Webデザイン ②	▶ プログラミング基礎② ▶ ITシステム基礎 ②		□ データベースマネジメント②	□ Webプログラミング ② □ システムモデリング ②	□ 先進プログラミング② □ アルゴリズムとデータ構造 ②	□ 先進プログラミング応用 ② □ システム思考 ②	
社会応用実践能力(N) ビジネス上のさまざまな問題に対して、問題解決の過程に基づき解決案を創出し成果を得ることができる。また理論的なアイデアを具体的な計画やレポートで明確に表現することができ、そのアイデアの有効性を実証するための調査や実施項目を計画し、実行に移して成果を上げ、以上のすべてを適切に説明することができる。						▶ 経営情報専門実験・演習 A ③ ▶ イノベーション基礎 ①	▶ 経営情報専門実験・演習 B ③ ▶ 専門ゼミ ①	▶ プロジェクトデザインⅢ ⑧

学ぶ領域

- ① **マネジメント**
人・モノ・金の全体最適化を実現することで、社会課題解決により理想的な状況を生み出す。
- ② **マーケティング**
人々が持つ潜在的なニーズを掘り起こし、技術と結びつける。
- ③ **金融**
お金の流れを物事の原動力、実態を映し出す鏡として捉え、活用する。
- ④ **情報通信**
IoT、ビッグデータ、AIによる新しいモノ・コトを創り出し、活用する。

▶ 必修科目 □ 選択科目 ○付数字は単位数を表す